

新穂地区合同防災訓練に 552 名が参加しました

11月10日(日)に実施した新穂地区合同防災訓練では、洪水・土砂災害を想定した各集落での避難訓練と併せ、避難行動要支援者安否確認訓練を実施しました。また、訓練終了後は、日本防災士会講師による、防災講演会を開催し、当日は、訓練全体で延べ552名が参加しました。

※今回は、ハザードマップに基づき、水害時に、浸水区域を避け何処に避難するべきかを各集落で事前に検討し、訓練に臨みました。これからも、地域の防災意識と防災力の向上をはかってまいります。



↑ 消防団新穂中隊 41 名が訓練に参加。現場指揮本部からの指令により、安否確認と避難広報を展開

避難訓練の後は防災講演会を開催(参加者 60 名)
テーマ：「家庭、地域で身近に行える防災対策」

主管：生活安心部会



↑ 避難情報をもとに、ハザードマップの浸水区域を避け、各集落が定めた避難場所にそれぞれ避難



桜の名所復活をめざして、新穂ダムに桜の苗木を植栽しました

新穂ダムの桜は、ダム築造時に数百本が植樹されて以来、桜の名所として島民から親しまれてきましたが、植樹から50年以上が経過し、老木化などにより衰弱が進んでいます。そのため、新穂地域づくり協議会では、これまで、周辺を整備しながら、今年度から、年次的に新穂ダム右岸に桜の苗木の植栽に取り組み、桜名所復活をめざします。

植栽の1週間前には、老木・雑木などの伐採処理をおこない、植栽場所周辺を整備しました。



主管：環境整備部会



舞姫(マヒメ)と神代曙(シンドアイアホリ)の苗木を10本ずつ植え付け

苗木の植栽作業(12/1)には、28名が参加し、20箇所の植栽が完了しました。



緑百年物語
100
GREEN One hundred
Niigata

にいがた「緑」の百年物語
新穂ダム
桜景勝地復活事業

2019年12月1日
新穂地域づくり協議会

春駒&のろま人形を多くの方から鑑賞いただきました

新穂地区の郷土芸能に親しみ、発展・継承させるため、今夏、新穂地区公民館で開催した「春駒&のろま人形上演会」には、6回の上演で延べ180人の方から鑑賞いただき、「楽しかった」「また観たい」の声を多くちょうだいしました。

※今回、来場者からアンケートに協力いただき、8割以上の方から、「総合的にイベント内容に満足」との回答をいただきました。また、来場者の約3割が島外からのお客様でした。

【今年度上演したのろま人形の演目等】
(各回とも、のろま上演前に春駒が出演)

開催日	演目	出演
7/27	生地蔵	廣栄座
7/28	五輪仏	新青座
8/3	お花の里帰り	新青座
8/4	そば畑	廣栄座
8/10	木之助座禅	廣栄座
8/11	生地蔵	新青座



主管：伝統文化部会

新青座「生地蔵」

あいさつが盛んなまちづくりをめざして

新穂中学校区学校運営協議会（コミュニティスクール）主催の「あいさつ祭り」（6/7、10/8 開催）に、新穂地域づくり協議会も参加し、地域の方や児童生徒と元気なあいさつを交わし、交流をはかってきました。

ワンワンぱとろーる・お散歩隊募集中

新穂地区の防犯対策として、日常的な犬のお散歩や買い物、まち歩きの際、学校運営協議会と共同で製作したトートバックを持参していただける、ワンワンぱとろーる・お散歩隊を募集しています。詳しくは新穂地区の小中学校までお問合せください。

主管：生活安心部会



新穂中学校のあいさつ祭り。登校の生徒をアーチでお出迎え

地域活性化ビジネスチャンス講演会を開催しました

地域の課題を見出し、課題解決をビジネスの視点で捉え、起業を実現していくヒントを得る、ビジネスチャンス講演会を開催しました。

講師の多田さんは大阪出身。地域おこし協力隊として、ご家族とともに十日町市に移住して9年。移住した廃村寸前の限界集落を再生したエキスパート

ワークショップで意見交換をしたら、趣味や身の回りの何気ないアイデアの融合が思いがけないビジネスチャンスに…



講師はNPO法人「地域おこし」理事・事務局長 多田朋孔さん



主管：地域活性化部会

部 会 員 募 集

新穂地域づくり協議会の活動に参加いただけるに部会員を随時募集しています。専門的な知識や技術は必要ありません。いっしょに新穂を盛り上げ、住みよいまちづくりに取り組んでいただける方は、どの部会でも構いませんので、新穂行政サービスセンター内新穂地域づくり協議会事務局（☎22-3111）までご連絡ください。